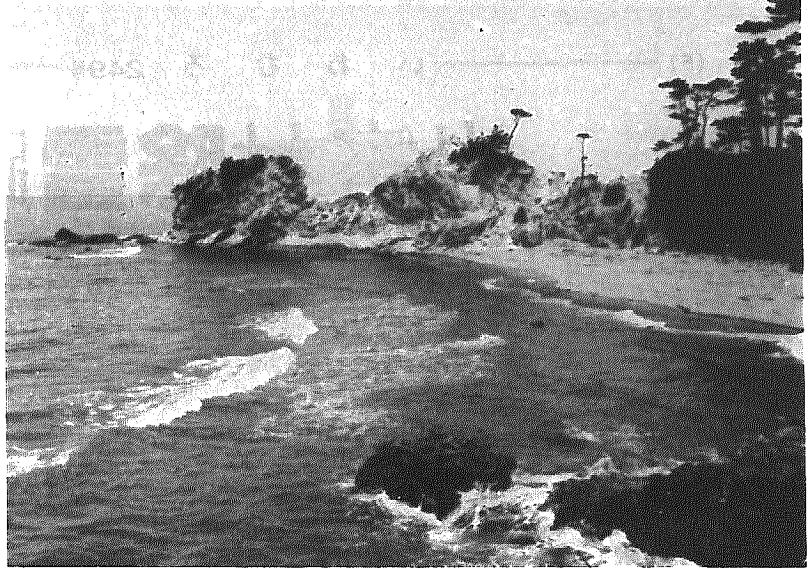


先月8日、和納第二保育園で楽しい生活発表会がありました。これは、「園児たちの成長の歩みを父兄にぜひ観てもらおう」というもので、子どもたちはゆうぎや合奏、言語劇など一生けんめい練習した成果を家族の前で元氣いっぱい披露。プログラム最後の全児による「どんばん節」で会は最高潮に盛り上がりました。

◀お父さん、お母さんよく見てネ!



「にいがた景勝百選」に、間瀬海岸の白岩

第47位 (5,490票)

「にいがた景勝百選」は、上越新幹線開通記念行事として県観光課などが中心になって実施したもので、九月、十月の二ヶ月間にわたって人気投票が続けられました。新幹線開業日の十一月十五日に最終結果が発表され、「間瀬海岸の白岩」が、選ばれました。投票を呼びかけた村観光協会では「応援していた村の皆さんに感謝します」と話しています。



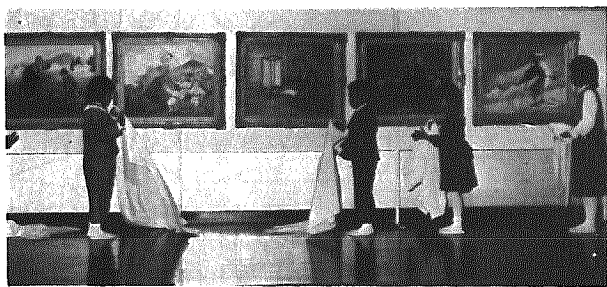
▶今度は岩室ブルースの踊りが

「岩室ブルースのカラオケ講座」に続き、「岩室ブルースの民謡教室」が先月七日まで三回開かれました。会場の公民館講堂には毎回九十人を超す「踊りに堪能」な婦人が集まり、講師の市川サキさんの指導に熱心に練習していました。最終日には、「みなさん合格です」と市川講師よりお褒めをいただきました。かかなうちに教室をおわりました。



▲お相手は?

先月4日、公民館で婦人会のダンスパーティーが行われました。アトラクションのキャンドルサービスのあとスポットライトにミラーボールが輝き、まずはブルースからスタート。なぜ?か、お相手は同性ばかり一参加者百人あまりのうち男性はほんの数人。最初はためらっていた婦人会員も曲が流れるにつれてお互いニコニコ顔に……。



良寛逸話の大作
五点を寄贈

先月十四日、岩室の高島屋旅館で肖像美術界第一人者である馬堀法眼喜孝さん(七十六歳、横須賀市在住)から「岩室は良寛ゆかりの地であり、この自然と風土に非常に感激しました」と言って良寛逸話の油絵の大作五点(二十号)が村に寄贈されました。村長は「広く村民に観てもらえるよう公民館に展示します」とお



(春)



(夏)



(秋)



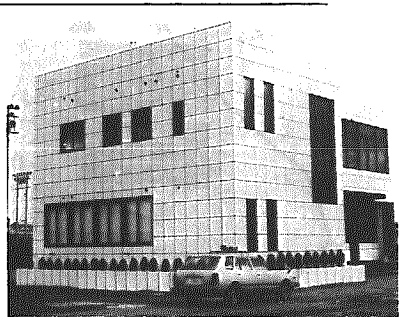
(秋)



(冬)

札を述べました。みなさん、ぜひご覧ください。

＊馬堀法眼喜孝画伯：明治四十年横須賀市に生まれ、非凡な画才は、少年の頃から顕われ、肖像画の世界に入ってから、歴代天皇の御肖像をはじめ、紙幣の肖像画にも多く起用され現行紙幣の聖徳太子、伊藤博文、岩倉具視などいずれも画伯の作になるものです。現在、全日本肖像美術協会総裁として活躍されています。



商工会館が完成

先月8日、岩室村商工会館の完工式が行われました。商工会は49年から村の旧和納浄水場跡を利用してきました。新会館建設が会員の強い願いであり、昨年7月から公民館前の村有地に建設を進めていました。会館は鉄骨造り2階建てで、延べ369㎡、1階に事務室、相談室、研修室が設けられ、2階には、相談室、研修室、記帳指導室などが配置されています。



大にいがたまつりの
越後踊りに岩室
だいる会が参加

上越新幹線開通を記念して十一月二十七日、二十八日の両日新潟市体育館でふるさと芸能祭が行われ、県内外を代表する民謡が披露されました。岩室からは「だいる会」のみなさんによる岩室昔句が紹介され大好評でした。